県知事選立候補者２人に
アンケートを行い、回答を公表

富士宮高校会議所

富士宮市内の5高校の生徒たちが連携して、高校生の視点と行動力で地域振興や地方創生・商店街再生・地域ビジネスの手法について実践を通して学び、アイデアを発信している「富士宮高校会議所」（中村真緒会頭）は、きょう25日に投開票が行われる静岡県知事選挙に関して立候補者2人に「高校生としての質問」を行い、寄せられた回答を発表した。

富士宮高校会議所では、昨年6月に、18歳選挙権の初めての行使であることを踏まえて、市内の高校生と市議会議員の「富士宮を活性化するにはどうしたらよいか」をテーマにワークショップを行なった。同ワークショップは、「選挙に行くということも重要だが、その前に住んでいる町をどうすればよいかと考えたり、行動することが、主権者意識の向上につながる」との考えから実施されたもので、今回の県知事選・立候補者アンケートは、『知事選候補者に、高校生としての質問を行いたい』との趣旨で実施し、立候補している溝口氏と川勝氏の2人に質問状を発送、2氏から回答が寄せられたことから回答内容をまとめ公開した。

質問と回答は次のとおり。（選択肢を示しての回答）

質問―1、富士宮高校会議所を知っていましたか。

溝口―「全く知らなかった」

川勝―「名前は聞いたことがある」

質問―2、富士宮高校会議所は市内5高校生が集まって活動してますが、このことについてどう思いますか。

溝口―「高校を越えた活動はよいと思う」

川勝―「高校を越えた活動はよいと思う」

質問―3、近年10年間の知事選では、投票率が50％を超えたのは2回しかありません。このことについてどう思いますか。

溝口―「投票率が低いのは、選挙権者の意識の問題である」

川勝―「投票率が低いのは、選挙権者の意識の問題である」、その他で「20代の投票率が低いのは、中高での主権者教育ができていないからだと思います。30代になると自然に社会や選挙について関心を持つようになります。」

質問―4、静岡県知事として一番やりたいことはなんですか。順位を入れてください。

溝口―「①＝社会福祉を充実する、人口減をストップ、子どもの医療費無料化、教育環境の整備、スポーツ王国復活、危機管理、投票率が低いのは、選挙権者の意識の問題、②＝命を守る、暮らしの豊かさを実感する、観光振興、農業振興、工業振興、商業振興。

川勝―「①＝命を守る、社会福祉を充実する、暮らしの豊かさを実感する、人口減をストップ、子どもの医療費無料化、教育環境の整備、スポーツ王国復活、危機管理、観光振興、農業振興、工業振興、商業振興」、その他。

川勝―「上記の項目はいずれも同じくらい重要です。」

溝口―「順位を付けることはできない。それぞれ関連している大事なこと」。

質問―5、浜岡原発の再稼動についてどう思いますか。

溝口―「より難しい条件をクリアすれば再稼動はある」

川勝―「使用済燃料を置く場所がなく、再稼動できる要件はありません。むしろ現状は廃炉についての条件の方が整いつつあるように思います」

質問―6、浜岡原発の再稼動を問う県民投票の実施をどう思いますか。

溝口―「県議会が過去に反対した経緯があり、しっかりと話し合った上県民の声をききたい」

川勝―「再稼動が現実性がない現状なので、巨費のかかる県民投票の実施は県費の無駄遣いになります」

質問―7、静岡県の高校生に望むことについて（順位を付ける）

溝口―「①＝他人を思いやる心を育成して地域への貢献活動にもっと積極的になって欲しい、挨拶・礼儀等をきちんとして欲しい、大きな夢をもって欲しい、②＝勉強を頑張って欲しい、芸術・スポーツ等にもっと取り組んで欲しい、政治・経済にもっと関心をもって欲しい、起業精神をもっと持って欲しい」その他「順位を付けることはできない。どれも大切なこと」

川勝―「①＝勉強を頑張って欲しい、芸術・スポーツ等にもっと取り組んで欲しい、他人を思いやる心を育成して地域への貢献活動にもっと積極的になって欲しい、挨拶・礼儀等をきちんとして欲しい、大きな夢をもって欲しい、政治・経済にもっと関心をもって欲しい、②＝起業精神をもっと持って欲しい」その他「文武両道の上を行く文・武・芸の三道の鼎立が理想です。文（学問）を尊ぶ（成績は問わない）、武（スポーツを好む、下手でも良い）芸（芸術）を愛する（無芸大食でもよい）」

質問―8、富士宮の今後についてどう思いますか（順位を付ける）

溝口―「①＝世界文化遺産である富士山を中心に今後も発展して欲しい、②＝富士山本宮浅間大社を中心に、門前町として発展して欲しい、③＝富士宮やきそばをはじめ食の町として発展して欲しい、④＝工業を中心として発展して欲しい、農業を中心として発展して欲しい、商業を中心として発展して欲しい、観光地として発展して欲しい」その他「順位をつけることはできない。どの分野も力をつける必要がある」

川勝―「①＝世界文化遺産である富士山を中心に今後も発展して欲しい、富士山本宮浅間大社を中心に、門前町として発展して欲しい、富士宮やきそばをはじめ食の町として発展して欲しい、工業を中心として発展して欲しい、農業を中心として発展して欲しい、商業を中心として発展して欲しい、観光地として発展して欲しい」その他「富士宮は、富士山を中心にバランスよく揃ったところが魅力です」

【富士宮高校会議所よりの提言】

お二人の知事選候補者には、お忙しい中、私たちのアンケートに対して真摯にお答え下さいまして、感謝しています。

今回のアンケートを見て、原発再稼動、県政、県民の生活等について、現職の方は、現実に即したわかりやすい回答を下さり、チャレンジされる方は、果敢に思いを出されていると感じました。

富士宮高校会議所としては、お二人の現在の高校生、富士宮に対する意見を参考にしながら、ますます高校生らしさを前面に出して、身近な地域（顔見知りの社会）を大切に、活性化する活動を今後も続けたいと思います。

また、静岡県の知事選挙は、近年10年間で、投票率が50％を越えたのは、2回しかありません。

ここに、富士宮高校会議所として、私たちの知事候補者へのアンケート結果を参考に、有権者特に高校生の有権者は、自信を持って選挙権を行使して欲しいと提言します。

話題のひろば

窓辺の風景 ―8―
「長崎屋洋菓子店」

店舗入口をゼラニウムの花で彩り

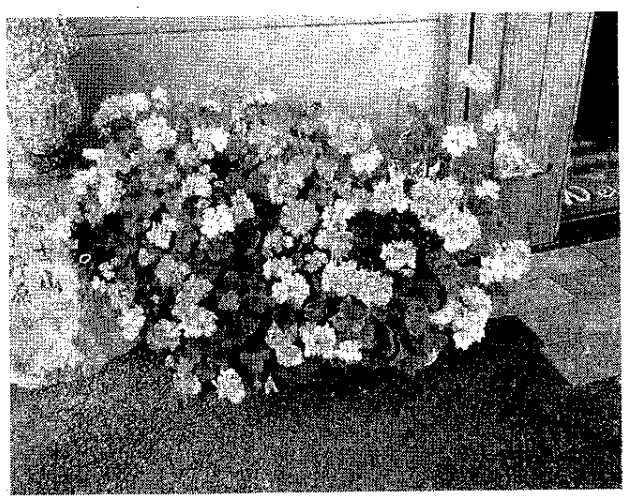
紫陽花が各地で花開いて梅雨の季節を華やかに彩っているが、鮮やかな赤色のゼラニウムの花を育てるプランターが、道路沿いの店舗入口に並べられ、道行く人の目を楽しませている。

万野原新田の長崎屋洋菓子店（高比良剛代表）では、店舗のリニューアル後は店内にイートインコーナー（買い求めたケーキなどを店内で食べることができる喫茶コーナー）を設けて好評を博しているが、店舗入口横の道路沿いには花のプランターを設置して「緑と花のうるおい」をひろげている。

長崎屋洋菓子店の「窓辺の風景」を彩るゼラニウムは、赤色を中心に鮮やかな彩りで道行く人の目を楽しませている。

プランターは、オーナー夫妻とパテシエの娘さんが花を育てて店舗前を彩っているもの。

店舗入口のプランターを彩るゼラニウムの花



ゼラニウムはテンジクアオイ属の多年草でアフリカ原産のペラルゴニウム属を改良して作られた園芸品種。

丈夫な品種で花色は、赤・ピンク・サーモンピンク・白や復色・葉に紋様があるものと多彩で、育てやすくこの季節の花壇を彩ります。

市立中央図書館の新資料

○旅して見つけた！地方に伝わる素朴なレシピ世界の郷土菓子
（郷土菓子研究社・林周作・河出書房新社）

本書は世界の郷土菓子に出会いたくなって32ヵ国を訪れた著者が旅日記とともに西欧・東欧・中東・アジアまでの世界の郷土菓子を紹介。名前だけ聞くと不思議なお菓子も写真を見れば『日本にも似ているものがある！』と感じさせてくれる一品も。もちろん、それぞれの郷土菓子のレシピもありますよ。

○よくわかる病院 役割・設備からはたらく人たちまで　（梶葉子・PHP研究所）

「病院は何をして、どのような人達が働いているか知っていますか？」と聞かれたら「病気になった人が行って、お医者さんと看護師さんが働いているところ」と答えますよね。でも病院ってそれだけではないのです。この本は、病院の役割や設備から、病院で働くたくさんの人達を紹介。病院について学んでみませんか？

BOOK○岐阜信長歴史読本（KADOKAWA）○理化学研究所100年目の巨大研究機関（山根一眞）○枕と寝具の科学（久保田博南）○ジブリの文学（鈴木敏夫）○生死を分ける、山の避難回避術（羽根田治）○うた燦燦（道浦母郁子）○茜の茶碗―裏用心棒譚（上田秀人）○おそれミミズク―あるいは彼岸の渡し鋼（オキシタケヒコ）○時の名残り（津村節子）○ぼくが死んだ日（キャンデス・フレミング）〈児童書〉○楽しい学校マジック（庄司タカヒト）○あめのちゆうやけせんたくかあちゃん（さとうわきこ）○先生は教えてくれない大学のトリセツ（田中研之輔）

ひばり号巡回

▽25日＝舟久保区1町内広場（10時～11時）月の輪住宅集会所（14時～14時45分）野中2区・スーパーモロホシ駐車場（15時～15時45分）

緊急医

【25日】

〈内科・小児科・外科〉市救急医療センター（☎㉔9999）

〈歯科〉午前9時～午後5時まで同所

〈眼科〉朝岡眼科医院（富士市今泉・☎0545㊷0745）

みしかなニュース　岳陽新聞